

乗雲

寺報
第116号
R4/2/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広厳寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

汝等比丘、悲惱を懐くこと勿れ。若し我れ世に住すること一劫するとも、会うものは亦た当に滅すべし。会うて而も離れざることに終に得べからず。

遺教経

「修行者よ、悲しむことなかれ。もし私が一劫(きわめて長い年月)を生きたとしても、会う者は必ず滅するものであり、会って離れないということはない。」

遺教経(ゆいき

ようぎよう)は

釈迦さまがご自分

のご臨終に際し弟

子たちに説かれた

最後の教えであり

ます。お釈迦さま

は二月十五日満月

の夜、インドのク

シナガラ(沙羅の

樹の生い茂る林の

中で沢山の弟子た

ち、あらゆる生き

ものに囲まれて静

かにご入滅なされ

ました。御年八十、

宗侶は仏寿の年と

呼びます。

「諸行無常」の教えがあります。お釈迦さまはすべてのものが移り変わり一つとして止まるものはないという無常の道理を我が身をもつてお示しくされました。

現在の世の中を見ますと新型コロナウイルス感染症により世界中が大きな影響を受け、二年経ちますがまだ収まる気配がありません。今まで当たり前であった日常が大きく変化をし、新たな生活様式が求められています。当たり前が何と有り難いことであったかと痛感しています。そうこうしているうちにも無常でありますから「歲月人を待たず」でどんどん時は過ぎ去っていきます。こんな時こそ日々の命を大切にして生きていかなければなりません。

お釈迦さまは遺教経の最後に「無常迅速、怠ることなく一生修行を続けよ」とお説きになっておられます。たった一つしかない命、二度とない人生、一日一日、時間を無駄にすることなく過ごしていきたいものです。新型コロナウイルスは変異株で予断を許しません。皆さまの平穩無事を祈ります。

令和四年 年回忌表

〔回忌〕 〔没年〕

一周忌 令和三年

三回忌 令和二年

七回忌 平成二十八年

十三回忌 平成二十二年

十七回忌 平成十八年

二十三回忌 平成十二年

二十七回忌 平成八年

三十三回忌 平成二年

五十回忌 昭和四十八年

百回忌 大正十二年

▼令和四年度(2022)の年回忌表です。当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。正当各家には昨年十一月中旬に通知していますのでご確認ください。▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお願いたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなってからちようど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は丸六年目が七回忌、丸十二年目が十三回忌となる。

新年役員会開催

一月十六日(日)午前十一時より本堂に於いて新年役員会を開催しました。新型コロナウイルスの影響により二年間開催なしでしたが、今回は感染拡大を考慮して会議後の会食を止め、参加者にはお弁当持ち帰りいたしました。住職挨拶、総代長榎本善一氏挨拶の後、新役員の紹介、令和三年度の行持報告、令和三年度護持費納入状況、令和四年度の行持予定等の説明後解散となりました。

▼令和四年二月より役員が交代いたします。
退任
佐藤昭一氏(本郷町)、小野昭二氏(大川町)、松本光平氏(関沢)

新任
佐藤岩男氏(本郷町)、小野政春氏(大川町)、松本 誠氏(関沢)

お知らせ

6月10日に予定しておりました当寺大般若会は新型コロナ感染症が未だ収束に至らない状況ですので、お檀家さまの安全安心を考慮し中止と致します。

境内整備

▼法人土地の地目変更

お寺の貸地(宅地)の一部が借地人よりの申し出により令和三年十二月に更地返還となりました。墓地に隣接した土地ですので、地目を変更し新たに墓地を造成いたします。



本町通りよりお寺入り口左側土地

▼参拝者駐車場に夜間照明灯設置

本堂向かって右の駐車場に夜間防犯の為設置しました。



大本山永平寺第七十九世ご本葬儀

大本山永平寺ご本葬儀

第七九世貫首 慈航玄徳禪師
絶学誦法(福山誦法) 大和尚

令和三年九月十日にご遷化(死去)なされました福山禪師(世寿九十歳)のご本葬儀が、令和三年十二月十五日十六日に大本山永平寺法堂に於いて九人の導師(九仏事)により挙行されました。乗炬師は本山總持寺石附周行紫雲臺猊下がお勤めになりました。新潟県下越佐渡祖門会会長として参列焼香して参りました。宗門関係各位、他宗派代表各位、福井県知事、信徒総代福井銀行頭取、他縁故寺院総勢千名近い参列者でありました。

お袈裟を縫う会

新潟市秋葉区久昌寺様では、昨年十月から十二月まで四回開催し絡子が縫い上がりました。



絡子 (五条衣)

絡子はお袈裟を普段使いに簡略化したもので僧侶及び在家信者の方も受衣作法を行って身に付けることができます。一月からは再度絡子裁縫の功德を積み、次に小三衣(小さなお守り袈裟)です。

●新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。新潟県も一月二十一日より二月十三日の三週間、まん延防止等重点措置が適用されています。不要不急の外出は避け、手洗い、うがい、マスク着用など十分な安全対策を講じてください。ご法事の延期も可能です。

お知らせ

令和2年4月1日より

禁煙とさせていただきます

※加熱式たばこも含む

No Smoking, No Heated Tobacco



喫煙者による禁煙が難しいことも理解し、禁煙の決意を固くお持ちください。ご理解とご協力をお願いいたします。

法の鏡を拝む

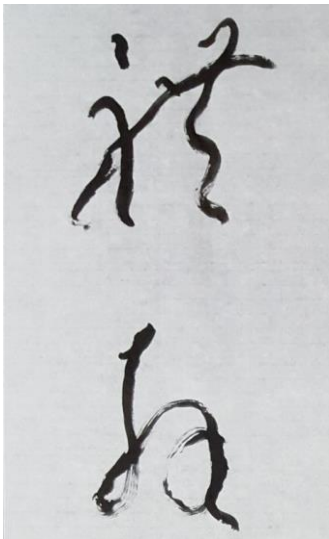
人は拝むとき、何を思うのだろうか。いま生きている自分は先祖さまが生きてきた長い時間を経ています。先祖さまはその長い時間を見てきました。手を合わせて礼をすることは法の鏡を拝むことです。仏の教えは「法鏡」という明るく迷いのない真実です。そして、仏の道を歩む人は恭敬仏法僧（くぎようぶつぼうそう）を持ちます。仏と仏の教え、教え在る僧、この三つを仏法僧といい、三宝（さんぼう）と呼んで敬い、仏の教えを守りました。

寺の本尊さまや仏壇に鏡はないですが、本尊さまは教えを示して生きた法の鏡です。拝むとき、拝んでいる自分を本尊さまや先祖さまに映し見ることができず。拝みは投影されるものです。本尊さま

や先祖さまを拝む行いは一方的な感じもします。しかし、拝んでいる私たちは法鏡のお力を授かり拝まれています。

「身光自照」とは、仏法を身につけた人が自ら輝くことです。修行僧はこの言葉のごとく、自分から光のようにまっすぐ修行しています。修行僧たちはすれ違ふとき、一度立ち止まってお互いに合掌礼拝、拝み合う挨拶をしてまた歩き始めます。仏の世界は「恭敬仏法僧」を大切にします。怒りや恨みを行いません。拝む気持ちが素直であれば、修行僧の挨拶のように拝みが帰ってきます。拝んだとき、その素直さが「法の鏡」に映ります。拝むことは拝まれることです。人は昔から拝むことで法鏡のお力を授かり拝まれています。

雲泉寺 神田恭真



礼 拜



梅花だより

梅花流詠讃歌とは・・・

人は幸せを願って生きています。しかし、誰しも悩み、悲しみ、苦しみを体験しない人はいないでしょう。そうした時に心を支えてくれるのが梅花流詠讃歌（御詠歌）です。その歌詞には私たちを安らぎの世界へと導いてくださる仏さまの教えや想いが示されています。

お唱えを聴いて

見ましよう。



雲泉寺解制法要

関川村雲泉寺（住職神田恭真）では入制令和三年十月十五日から解制令和四年一月十五日までの冬前安居（九旬）結制が終わり、一月二十三日に解制法要（報恩諷経、解制土地堂念誦、円鏡調印式）を如法に厳修いたしました。

円福寺住職就任式

夏井円福寺様では六月二十六日に大澤一彦師（昨年三月入山）の住職就任式及び大般若法要が厳修されます。

仏事の知識

畳の縁（へり）

最近の住宅は畳の部屋がほとんど無くなりました。お仏壇も小規模のものとなりフローリングやじゅうたんの部屋に置かれています。お寺の本堂や一般の住宅でも床の間のある部屋には畳が敷かれています。畳の長辺に縫い合わされた布を縁（へり）と言います。昔から縁は踏んではいけないと言われていました。縁は結界であり上下の座る位置を示していたり、縁の模様で序列があったようです。紋の付いた縁もあり、縁を踏むとその家の家紋を踏むことになると言って避けていました。

永平寺で修行中も畳の縁は踏まないこと、畳内を巡るときは斜めに横切らないでなるべく直角に曲がること、歩くときにはすり足を心がけること等指導を受けました。また、敷居も踏まないように教えられました。僧侶は読経中に道場内を巡るときには特に気を付けています。

仏事の知識 ↓



教区護持会研修旅行

開創七百年大本山總持寺祖院

参拝と輪島・和倉温泉の旅

期日 令和四年十月二十七日

～十月二十九日(二泊三日)

旅費 六万二千元

(總持寺祖院での供養料含む)

人員 七十名

締切 令和四年九月末日



能登 大本山總持寺祖院

羽咋 永光寺



| | | | | | | |
|-----------|---------------|----------------|---------------|---------------|----------------|------------------|
| 10 / | 各 中 | 小 | 羽永 昨光 寺 | 大本 山 | 總持 寺祖 院 | 大本山 總持寺 祖院 |
| 27 (木) | IC | IC | 7:00 | 16:30 | | |
| 10 / | 總持 寺祖 院 | 日本三 大朝 市 | 輪島 朝市 | 白米 千米 田 | 穴水 町 | 和倉 温泉 館 |
| 28 (金) | 8:30 | | | | | 16:45 |
| 10 / | 旅 | 金沢 番 街 | (買物) | 日本三 名園 | 金沢 森本 IC | 中 |
| 29 (土) | 9:00 | | | | | 18:30 |
| | | | | | | IC |

▼令和三年に予定しておりました十七教区護持会研修旅行は新型コロナウイルスの感染拡大によって中止となりましたが、再度今年(令和四年)同じコースで計画いたしました。能登沖地震からの復興なつた伽藍、そしてこのたび開創七百年を迎えた大本山總持寺祖院参拝の旅です。詳細はお問い合わせください。

お寺からのお願い

▼お墓のお供え(菓子、果物等)はカラスが食い荒らしますのでお参りが済みましたらお下げしてご自宅でお召し上がりください。

▼缶類、ペットボトル類もお供え後お持ち帰りください。

▼ゴミは必ずお持ち帰りください。

お墓参りの際にはゴミ入れ用のビニール袋などを持参して必ずお持ち帰り下さい。参道脇の自然ゴミ(花、草、落葉、枯れた樹木類)は墓地掃除のゴミです。何も捨ないでください。

▼花を包んである紙、花を縛ってあるビニール紐、アルミホイル、ラップ、発泡スチロール、トレイ、プラスチック、ナイロン等や、墓掃除の雑巾、タワシ、洗剤容器、軍手、ビニール手袋等は持ち帰って燃えるゴミとして町のゴミ収集車に出してください。自然ゴミと町に出すゴミの分別をお願いします。

●大般若は今年も中止します。コロナ禍で思うように行事も開催できませんが、この寺便り「乗雲」が檀信徒皆様の心の平安をもたらす一助となれば幸いです。

寂光塔(永代供養墓地)

一人暮らしの方、お墓継承にお悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。



寂光塔(永代供養合同墓所)

動物供養塔(ペット墓地)

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔(ペットのお墓)

